IT教育・人材育成委員会

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT教育・人材育成委員会　概要

委員会ビジョン

デジタルトランスフォーメーションを推進しイノベーションをもたらすIT人材を育成する好循環を目指す。その手段としてiコンピテンシディクショナリを活用し，産学が一体となって教育を整備する。

分科会

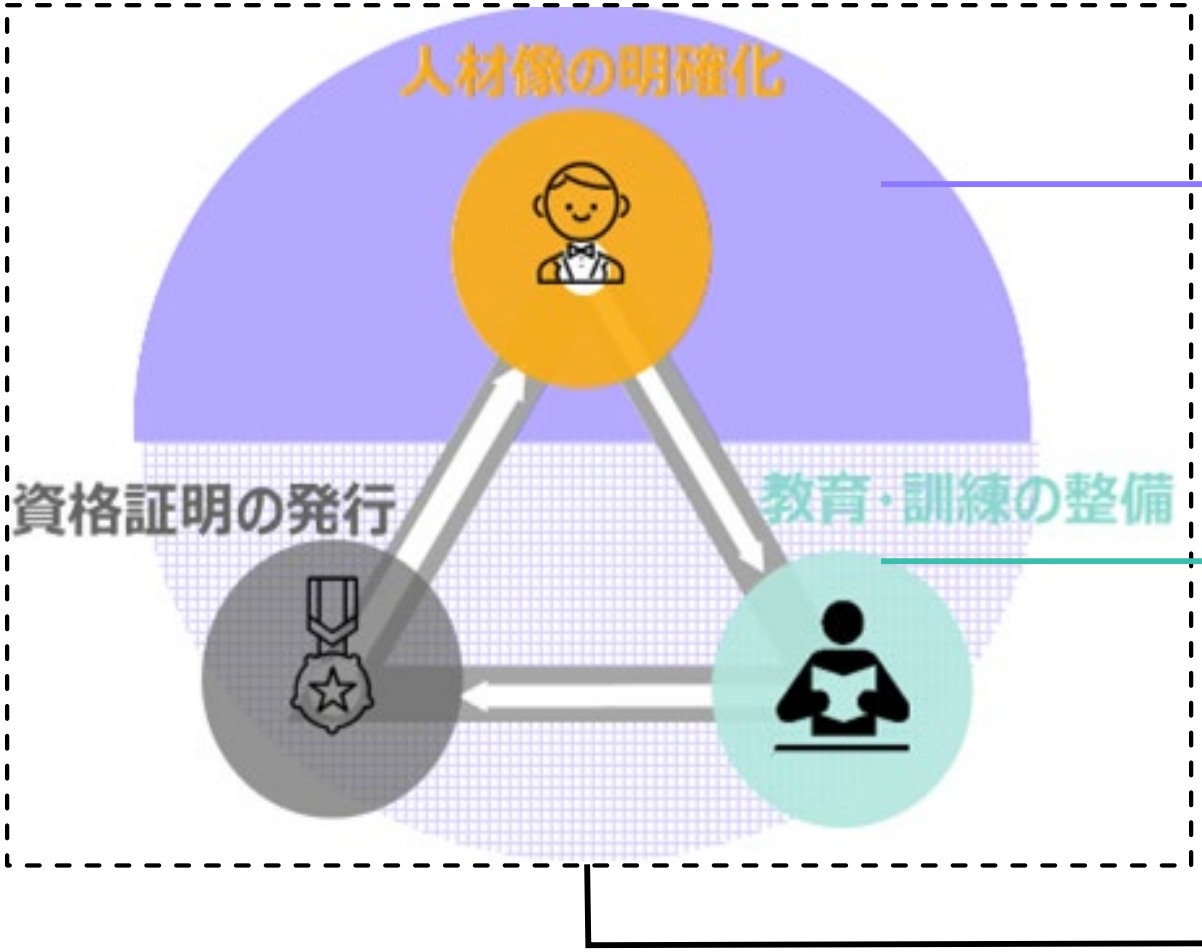
ビジョン実現に向け，各分科会が互いにフィードバックを連携して活動を行う。

技術応用分科会	…… 分科会長	華井 克育
教育コンテンツ分科会	…… 分科会長	田中 久也
政策提言分科会	…… 分科会長	畑口 昌洋
奨学制度分科会（保留）		

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

本委員会の分科会について

人材育成の好循環を目指す



技術応用分科会

旧人材育成委員会を継承。教育・訓練の垣根を越えて，コンピテンシーを軸に産業界の求める人材像を明確化する。スマートエスイー等の事例も参考にする。情報処理学会と連携して，先端技術についての情報交換も行う。

教育コンテンツ分科会

旧IT教育委員会を継承。人材像に対応するコンピテンシーを養う教育を整備し，個々人の学習成果が産業界で認知されるよう必要な事項を検討し定義する。

政策提言分科会

IT教育・人材育成について，本委員会のビジョンに基づき，各団体の要望を含めて，推進すべき政策提言を取りまとめる

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT教育・人材育成委員会と人材育成のスコープ

認定情報技術者
CITPレベル4-7

・情報処理学会
ITプロフェッショナル委員会による運用

産業界が求める人材像の
定義／
enPit等との連携

・技術応用分科会
（旧人材育成委員会）の活動

iCDを軸にした
教育の提供と単位認定

・教育コンテンツ分科会
（旧教育委員会）の構想

ITパスポート

高等学校
「情報」

・情報処理学会
情報処理教育委員会の提言

国民全員が身に付けるべきITリテラシー

iCDを軸にしたeラーニング講座拡充の対象範囲

より高度な人材

例

画像：IPA インターネット安全教室（https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/net-anzen.html）より

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT人材育成への投資拡大

Copyright (C) 一般社団法人日本IT団体連盟 All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT人材育成への投資拡大

我が国は，約30年余りにわたって質・量ともに慢性的なIT人材不足に陥っており，世界最先端デジタル国家創造を掲げる今に至っても課題となっている。パンデミックを乗り越え，日本が持続可能な経済成長を実現するには，何よりもDX(デジタルトランスフォーメーション）がその原動力となる。DXを実行しイノベーション創出を担う優れた人材の育成・獲得は，より一層の急務である。

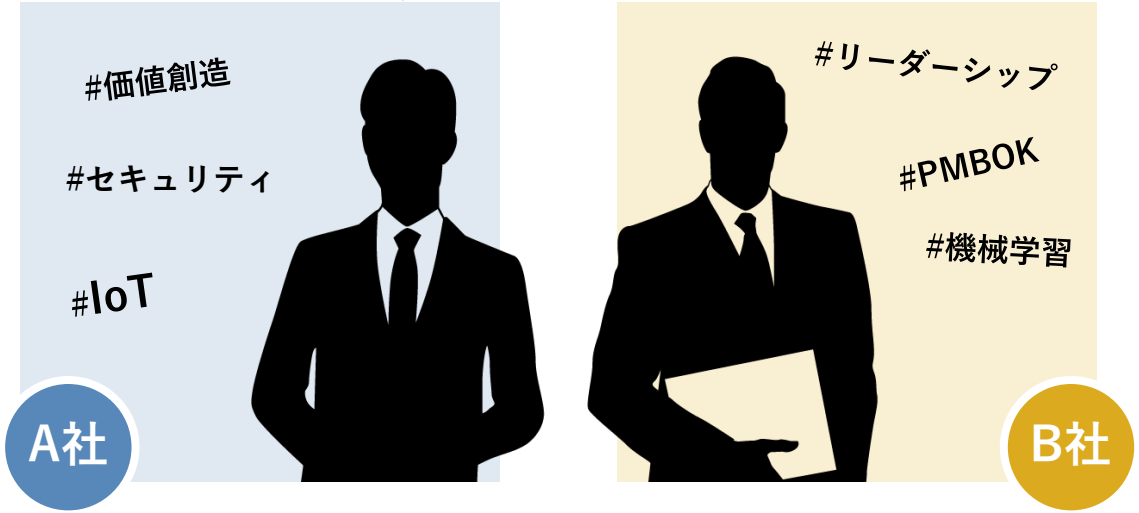
　その実現には，初等中等教育から高度な人材育成に至るまで，非対面の環境であっても誰もが生涯にわたって学び続け，その能力を十分発揮し経済発展に寄与するための抜本的な教育・人材基盤の整備が不可欠である。DXを始めとする実社会で求められる人材を育成するオンラインの学習コンテンツを整備し，全国民が自由にアクセスできるよう投資を拡大すべきである。

整備にあたっては国際的にも認められた人材育成のスタンダードである「i コンピテンシディクショナリ」を活用参照すべきである。

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT人材育成における現状

IT企業において求められる人材は変化，多様化しています…



しかし

スキルアップをしようと思う人材は
どのようなキャリアを望むべきか不透明で
スキルアップへの動機づけにつながっていません。

世の中にはたくさんの教育コンテンツが存在していますが…

しかし

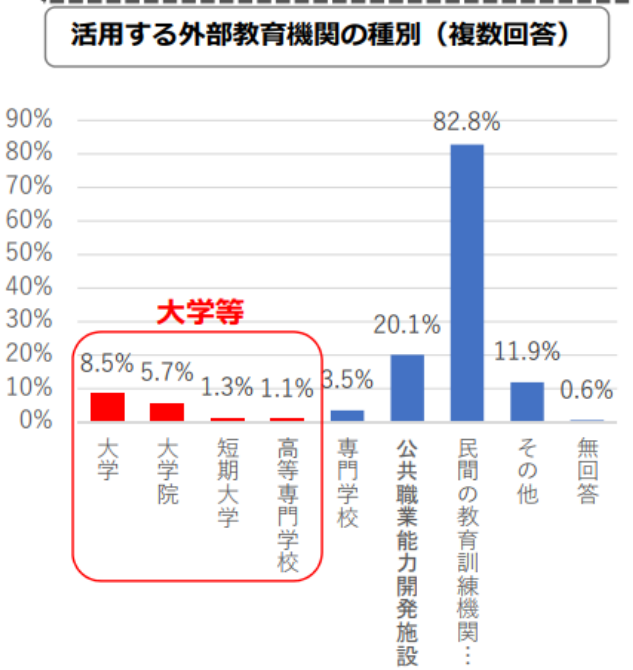
自分に合った講座を一括で見つけるのは困難で,
また仕事にどうつながるか,
明確になりづらい状況にあります。

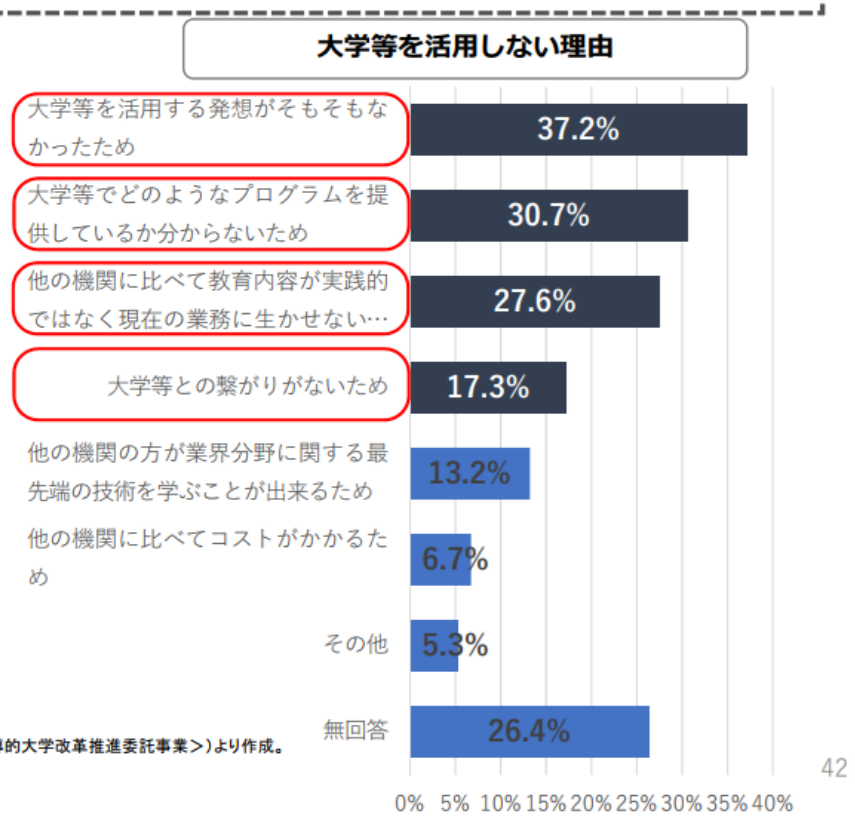
Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

民間が企業人材の育成を担う現状

企業の外部教育機関としての大学の位置付け

○企業の８割が外部教育機関として民間の教育訓練機関を活用。一方、大学を活用するのはごくわずか。
○大学を活用しない理由の上位は「大学を活用する発想がそもそもなかった」、「大学でどのようなプログラムを提供しているかわからない」。





（出典）社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究
（平成27年度イノベーション・デザイン＆テクノロジーズ株式会社＜文部科学省：先導的大学改革推進委託事業＞）より作成。

「リカレント教育の拡充に向けて」（文部科学省）http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/043/siryo/__icsFiles/afieldfile/2018/08/03/1407795_2.pdf

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

IT教育・人材育成委員会
IT education & workforce

提言

IT人材育成のための「教育コンテンツプラットフォーム（仮称）」の構築

日本IT団体連盟

IT連企業における多様な人材育成ニーズ

- 経産省の人材モデル
- IT連の人材モデル
- 各企業における固有の人材像定義
- 特定スキル強化方針
- 技術者の自己啓発によるスキルアップ

効率的、効果的教育環境

教育コンテンツ プラットフォーム（Web）

索引(iCD)による
人材像
役割（タスク）
特定スキル分野
から効率的な検索･受講

教育講座 データベース

世の中に存在する多様な教育コンテンツ

- 経産省認定講座
- IT連企業の提供講座
- 教育事業者の講座
- 大学の講義
- 産学が提供するe－learning
- ＪＭＯＯＣ

(1)企業毎の人材育成に必要十分な教育講座の選択

(2)教育の申し込み機能，履歴管理
(3)資格や学位の取得支援機能

(4)採用候補者のスキルが教育履歴から可視化

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

実務と学びをiCDで結ぶ

- DXを推進するIT業界で必要なスキルは整理済み。
- 民間の研修や大学の授業についてｉＣＤ（コンピテンシーディクショナリ）を参照し関係性を明記

最先端人材プロファイリング

Copyright 2021 © All rights reserved, iCD Association

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

i-Competency Dictionary（iCD）を軸にしたリカレント教育の推進

Society5.0を迎え，産業構造の急激な変化によりビジネスモデルの変革が求められる中，産業界の声を踏まえ，育成したい人材モデルを設定。その人材が遂行するタスクと対応する講座をシームレスに紐づける。

人材モデルを定義
担う役割・仕事（タスクを定義）

人材像例：ビジネスアナリスト

担う役割（タスク）

- 市場動向の調査・分析…
- ITサービス戦略の策定
- IT製品戦略の評価
- 最新技術の研究・検証
- テクニカルサポート

仕事遂行に必要なスキル
スキル取得ができる講座

世の中にある多様な講座から
対応するものをピックアップ

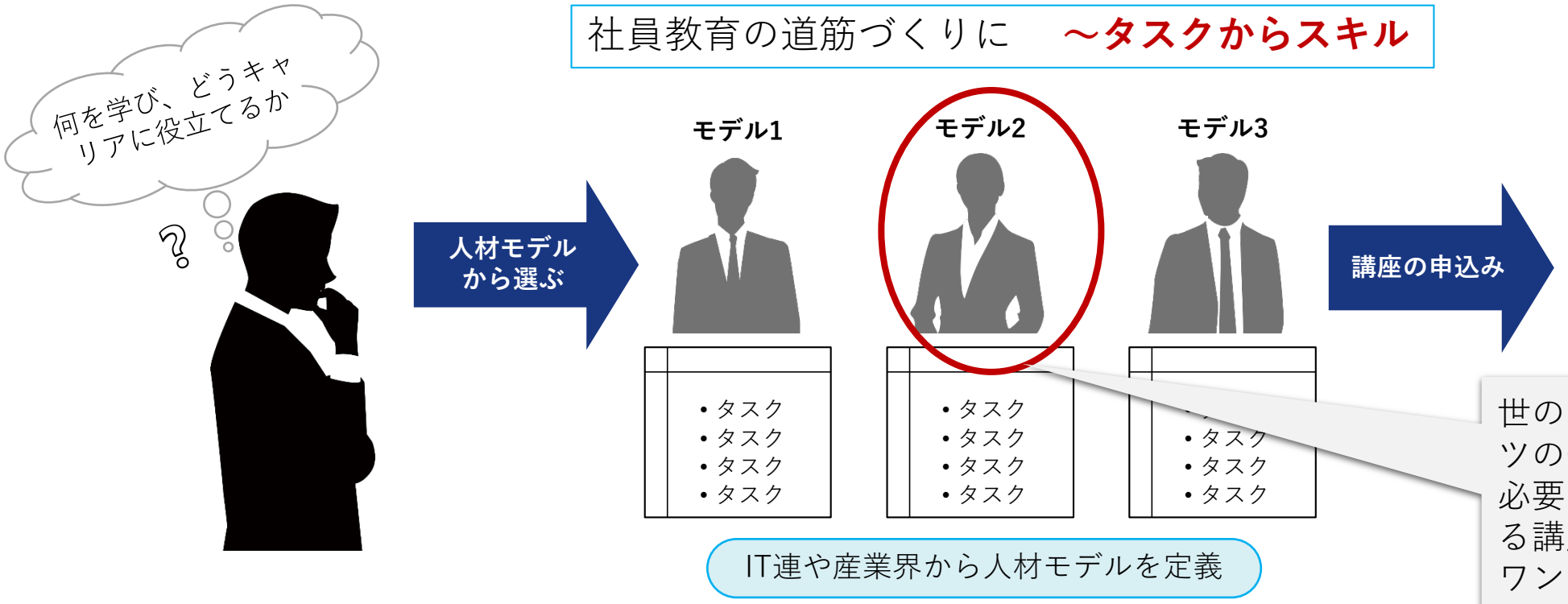
- アンケート入門
- ITサービス導入による
  システム運用改善
- ITサービスマネージメントWS
- サービスマネジメントにおける
  データ分析
- 事例から学ぶ先端技術動向

iCDはIT分野の仕事や知識を整理したグローバルに通用するスキル標準です

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

利用イメージ1

- IT連での産業界の声を踏まえ，育成したい人材モデルを設定。
- 人材モデルから選択すると，その人材が遂行するタスクと対応する講座をピックアップできる。
- その人材になるために必要なスキルに応じ，講座への申し込みがワンストップで可能に。



Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

利用イメージ2

- 求職者：スキルの過不足がわかり，目指す人材像から講座を選択して主体的に学ぶきっかけづくりに
- 採用側：募集職種の担う仕事について受講履歴や仕事経験をもとに、照らし合わせ客観的に把握できる

求職者の保有スキルの可視化に　**～スキルからタスク**

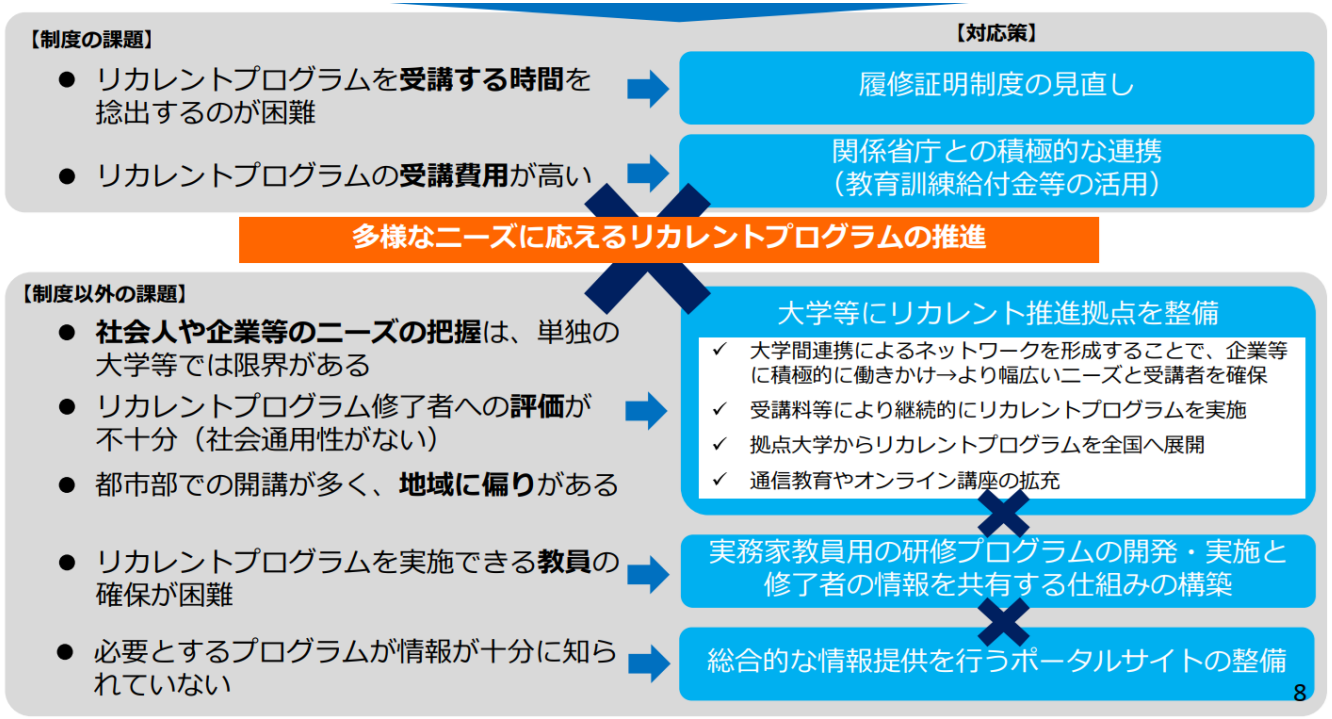
大学や民間で履修した講座

学習者が学習履歴を保管し，採用担当者に，受講証明を提示できる機能を構築する。例えば，データサイエンティストの募集職種では，データベース演習，統計分析演習，R演習の3科目を履修済として提示でき，必要なスキルの獲得を証明できる。

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

産学連携で学び直しを促進

iＣＤ（コンピテンシーディクショナリ）を軸に，IT教育プログラムへのアクセスを整備，求人と求職双方に履修済みITスキルを明記



ITスキルの履修証明（デジタルバッジ）習得に給付金

大学の情報・経営系科目をiCDに照らし合わせ参照可能に整備

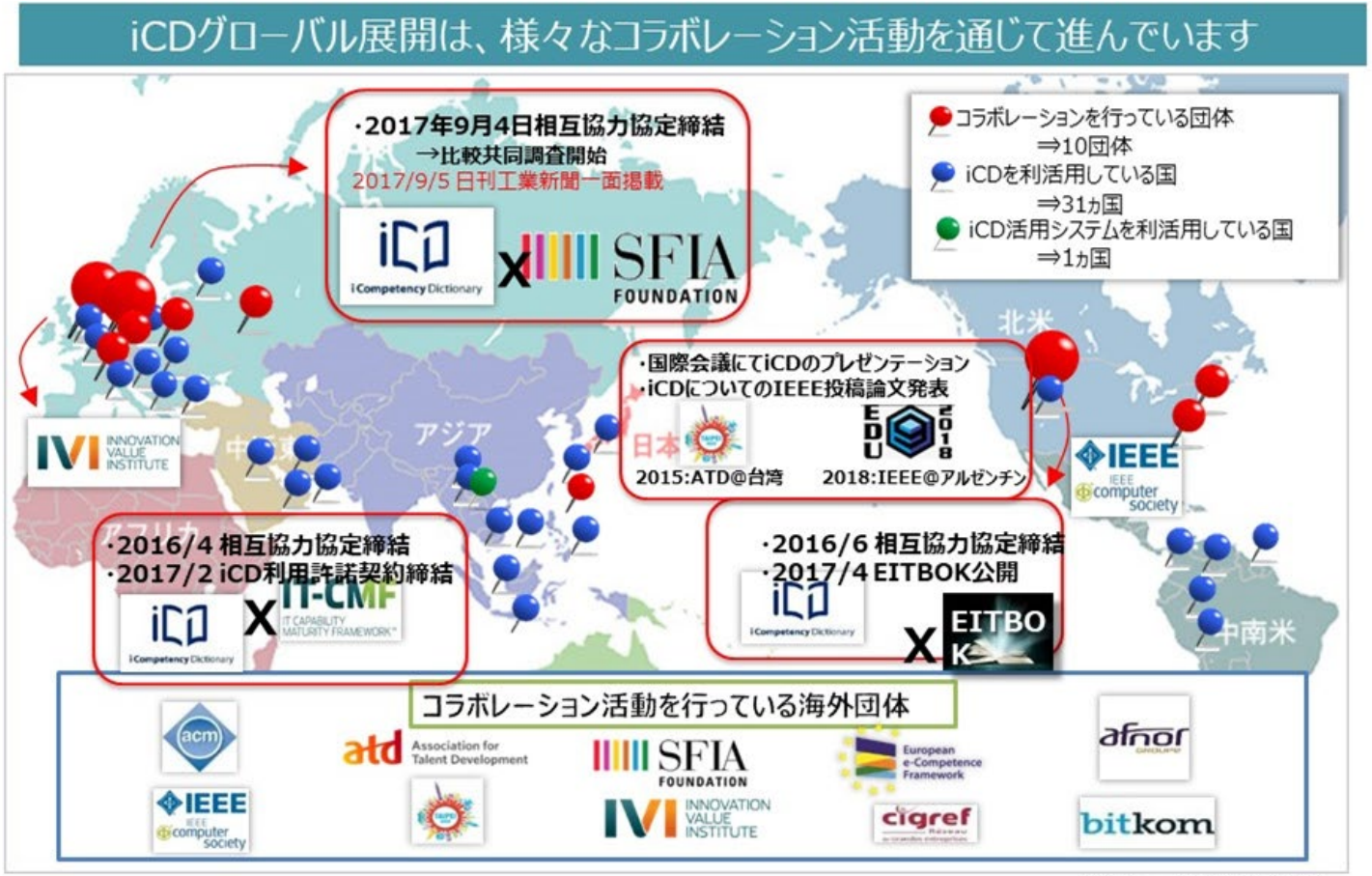
修了者情報に履修ITスキルを明記（デジタルバッジ）、求人とマッチング

「リカレント教育の拡充に向けて」（文部科学省）http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/043/siryo/__icsFiles/afieldfile/2018/08/03/1407795_2.pdf

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

国際的に通用する人材育成

ｉＣＤは国際的なITスキル標準として各国に普及



出典：IPA作成講演資料

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止

EOF

Copyright (C)　一般社団法人日本IT団体連盟　All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止